

コード	201040601
記入日:	H22.6.11

## 事務事業途中評価表

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石英穂
担当者	西村正則

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	ごみ焼却施設管理運営事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20104	基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進	目コード	3
事務事業コード	2010406	事務事業名称	ごみ焼却施設管理費	細目コード	317
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画	法令・条例規則等	廃棄物処理法・新上五島町廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例・新上五島町廃棄物処理施設設置条例		

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	町民	(対象指標1)	23,719人(H21.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・本施設において、必要な保守点検を実施するとともに、可燃ごみを7,108 <sup>ト</sup> 搬入し焼却処理を行なった。・事業内容 建物保険・手数料、各種点検委託料、宿日直委託料、運転管理委託料、修繕料。	*****	*****	*****	保守点検回数34回÷計画回数34回	*****
①		保守点検回数	34回	100%		平成21年度
(達成率分析)		施設の安全を確保するため、予定通りの保守点検を実施した。				
②		修繕回数	6回	300%	修繕回数6回÷修繕予定回数2回	*****
(達成率分析)	当初予定していた2回分の修繕は予定通り実施したが、突発的な故障が発生したため。					
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
住民生活に密着した、ごみ焼却施設を適正に管理することで、ダイオキシン類搬出の抑制、施設の延命化及び各種機械等の故障による長時間の施設の稼働停止を防止するとともに、住民に安心してもらえる快適な生活環境づくりを目指すことを目的とする。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
	*****	*****	*****	スラグ等搬出量719 <sup>ト</sup> ÷スラグ等搬出予定量747 <sup>ト</sup>	*****	
	①	スラグ等搬出量	719 <sup>ト</sup>	96.2%		平成21年度
	(達成率分析)	ごみ減量化の推進により、当初の見込みより可燃ごみ搬入量が減少したため。				
②	安全稼働日数	365日	100%	安全稼働日数365日÷年間稼働予定365日	*****	
(達成率分析)	予定した保守点検等を実施したこと、運転維持管理が適正に行われたことで安全に稼働することができた。					

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	172	172	138	34	34					
	② 回	30	34	28	2	6					
成果指標	① ト	4054	3922	3203	747	719					
	② 日	1826	1816	1451	365	365					
総事業費C(A+B)	千円	1,557,473	1,557,297	1,136,149	421,324	421,148					
直接事業費A	千円	1,487,473	1,487,297	1,080,149	407,324	407,148					
人件費B	千円	70,000	70,000	56,000	14,000	14,000					
内訳	従事職員数	人	10.0	10.0	8.0	2.0	2.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円	7,966	7,929	6,156	1,810	1,773				
一般財源	千円	1,549,507	1,549,368	1,129,993	419,514	419,375					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 一般廃棄物の減量化及び適正処理は、法律により町の責務である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 本事業の対象範囲は一般廃棄物の焼却処理を対象としているが、一般廃棄物の処理は住民生活に密接に関連することなので、時代情勢や環境が変化しても事業を行う必要がある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 全町民が排出するごみを焼却するための施設であり、事業の対象や目的は適正である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 焼却処理については現在の進め方でよいが、焼却後に発生する熔融スラグを最終処分場の覆土材としてのみ利用していることから、最終処分場の延命のため埋め戻し材等として有効利用する必要がある。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 熔融スラグを埋め戻し材等に有効利用するための方策を検討する必要がある。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 処理を他の自治体に委託することになると、多額の委託金が発生する。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由 単一の事業であり、他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 運転維持管理業務等を包括的運営管理委託で行うことで可能である。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 受付業務等を包括的運営管理委託で行うことで可能である。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 事業系一般廃棄物と家庭系一般廃棄物の処理手数料を区別することを検討する必要がある。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	熔融スラグの有効利用(埋め戻し材等への利用)を図るための方策を検討する必要がある。
		効率性	運転維持管理業務等を包括的運営管理委託(複数年管理委託)で行うことで、直接事業費の削減が可能である。また、事業活動に伴って排出される事業系一般廃棄物については、家庭系一般廃棄物との処理手数料の差別化を検討する必要がある。
		課題に向けた改善策	受付業務を包括的運営管理委託に含めると現金収納ができなくなり、後日納付書送付による納付になるため、広報誌等及び施設内係員による納付書納付の周知を徹底する。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	熔融スラグの有効活用は前年度も指摘しており、引き続きその有効策を検討し方針を示すこと。
効率性		包括的管理運営委託は平成22年度実施であり、あり方については経年的に適正に検証をすること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。